

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年11月13日

【四半期会計期間】 第52期第2四半期(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

【会社名】 株式会社オーイズミ

【英訳名】 OIZUMI Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 大 泉 秀 治

【本店の所在の場所】 神奈川県厚木市中町二丁目7番10号

【電話番号】 (046)297 - 2111(代)

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 前 田 信 夫

【最寄りの連絡場所】 神奈川県厚木市中町二丁目7番10号

【電話番号】 (046)297 - 2111(代)

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 前 田 信 夫

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第51期 第2四半期 連結累計期間	第52期 第2四半期 連結累計期間	第51期
会計期間		自 2018年4月1日 至 2018年9月30日	自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高	(千円)	4,754,233	6,349,792	9,723,502
経常利益	(千円)	47,833	850,460	271,556
親会社株主に帰属する四半期(当期) 純利益	(千円)	47,341	520,451	598,280
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	34,741	511,184	575,268
純資産額	(千円)	14,277,289	15,126,540	14,817,815
総資産額	(千円)	31,372,170	32,632,052	32,096,325
1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	2.10	23.14	26.60
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	45.5	46.4	46.2
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	1,579,469	1,431,820	2,156,167
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	649,441	971,425	847,731
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	282,447	264,413	620,479
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	6,140,295	8,072,112	7,876,132

回次		第51期 第2四半期 連結会計期間	第52期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 2018年7月1日 至 2018年9月30日	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	7.35	17.55

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について重要な変更はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 財政状態

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末(2019年3月31日)に比べ535百万円増加し、32,632百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1百万円減少し、13,869百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加(195百万円増)、商品及び製品の増加(122百万円増)の一方で、原材料の減少(231百万円減)、その他に含まれる前渡金の減少(127百万円減)によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ536百万円増加し、18,762百万円となりました。これは主に建物及び構築物の増加(401百万円増)、土地の増加(387百万円増)の一方で、機械装置及び運搬具の減少(211百万円減)によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ227百万円増加し、17,505百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加(166百万円増)、流動負債その他に含まれる未払金の増加(167百万円増)の一方で、未払法人税等の減少(91百万円減)によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ308百万円増加し、15,126百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加(317百万円増)によるものです。

この結果、自己資本比率は46.4%と前連結会計年度末に比べ0.2ポイント増加いたしました。

(2) 経営成績

当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高6,349百万円(前年同期比33.6%増)、経常利益850百万円(前年同期は47百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益520百万円(前年同期比999.4%増)となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。

(機器事業)

機器事業は、当第2四半期は売上高4,944百万円(前年同期比47.1%増)、セグメント利益775百万円(前年同期比915.2%増)となりました。

(不動産事業)

不動産事業は、当第2四半期は売上高360百万円(前年同期比7.1%増)、セグメント利益189百万円(前年同期比14.4%増)となりました。

(電気事業)

電気事業は、当第2四半期は売上高580百万円(前年同期比0.8%減)、セグメント利益258百万円(前年同期比5.9%増)となりました。

(コンテンツ事業)

コンテンツ事業は、当第2四半期は売上高360百万円(前年同期比3.1%減)、セグメント利益1百万円(前年同期比83.1%減)となりました。

(その他事業)

その他事業は、当第2四半期は売上高103百万円(前年同期比5.8%増)、セグメント損失6百万円(前年同期は26百万円の損失)となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ195百万円増加し8,072百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,431百万円(前年同期は得られた資金1,579百万円)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益850百万円の計上、減価償却381百万円の実施、たな卸資産の減少157百万円、仕入債務の増加178百万円、前渡金の減少127百万円がある一方で、法人税等の支払額419百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は971百万円(前年同期は使用した資金649百万円)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出877百万円、貸付による支出85百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は264百万円(前年同期は使用した資金282百万円)となりました。これは主に長期借入金の返済1,217百万円、配当金の支払202百万円がある一方で、長期借入れによる収入1,205百万円の資金取得があったことによるものです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は281百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(6) 従業員数

連結会社の状況

当第2四半期連結累計期間において、妙高酒造株式会社において季節労働者8名が減少しております。

提出会社の状況

当第2四半期累計期間において、従業員の著しい増減はありません。

(7) 生産、受注及び販売の実績

当第2四半期連結累計期間において、機器事業における自動サービス機器につきましては、販売実績及び生産実績は増加、また、遊技機(パチスロ機)等につきましては、販売実績及び生産実績は大幅に増加しております。

なお、当社グループでは機器事業におけるシステム機器製品については受注生産を行っておりますが、当第2四半期連結累計期間において、受注実績、販売実績ともに減少しております。

(8) 主要な設備

当第2四半期連結累計期間において、主要な設備の前連結会計年度末における計画の著しい変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	90,000,000
計	90,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	22,500,000	22,500,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株であります。
計	22,500,000	22,500,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年9月30日		22,500,000		1,006,900		673,700

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の 総数に対する 所有株式数の 割合(%)
(株)オーイズミホールディングス	神奈川県伊勢原市鈴川7	10,420	46.32
大泉秀治	神奈川県厚木市	3,062	13.61
大泉政治	神奈川県厚木市	720	3.20
大泉賢治	東京都渋谷区	604	2.69
田澤露子	神奈川県伊勢原市	485	2.16
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	東京都港区浜松町2-11-3	331	1.47
株式会社三菱UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2-7-1	300	1.33
オーイズミ取引先持株会	神奈川県厚木市中町2-7-10	257	1.14
株式会社商工組合中央金庫	東京都中央区八重洲2-10-17	210	0.93
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	東京都中央区晴海1-8-11	207	0.92
計		16,598	73.79

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 4,500		
完全議決権株式(その他)	普通株式 22,472,200	224,722	
単元未満株式	普通株式 23,300		一単元(100株)未満株式
発行済株式総数	22,500,000		
総株主の議決権		224,722	

(注) 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が1,500株(議決権15個)含まれております。また、「単元未満株式」欄の普通株式には、自己株式が71株含まれております。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社オーイズミ	神奈川県厚木市 中町2-7-10	4,500		4,500	0.0
計		4,500		4,500	0.0

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人コスモスによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,876,132	8,072,112
受取手形及び売掛金	1,441,645	1,537,206
電子記録債権	1,137,249	1,085,905
商品及び製品	736,839	859,103
仕掛品	521,239	471,736
原材料	981,937	750,389
コンテンツ	0	4,835
その他	1,178,609	1,093,028
貸倒引当金	2,870	4,759
流動資産合計	13,870,782	13,869,560
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,376,291	4,777,625
機械装置及び運搬具(純額)	3,717,229	3,505,929
土地	8,491,189	8,878,430
その他(純額)	117,535	115,478
建設仮勘定	61,500	-
有形固定資産合計	16,763,746	17,277,464
無形固定資産		
ソフトウェア	127,842	105,700
その他	21,012	19,907
無形固定資産合計	148,855	125,608
投資その他の資産		
投資有価証券	320,736	307,386
長期貸付金	1,295,000	1,380,000
繰延税金資産	115,693	138,657
長期前払費用	370,235	370,830
その他	317,634	315,403
貸倒引当金	1,106,357	1,152,857
投資その他の資産合計	1,312,941	1,359,420
固定資産合計	18,225,542	18,762,492
資産合計	32,096,325	32,632,052

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,727,817	1,894,026
短期借入金	1,140,000	1,140,000
1年内返済予定の長期借入金	2,362,758	2,318,195
未払法人税等	467,236	375,493
賞与引当金	36,677	63,664
製品保証引当金	9,000	5,000
返品調整引当金	3,734	3,585
販売促進引当金	21,800	18,300
その他	242,789	419,085
流動負債合計	6,011,813	6,237,349
固定負債		
長期借入金	9,658,727	9,640,885
リース債務	16,764	19,959
役員退職慰労引当金	530,587	530,418
退職給付に係る負債	52,467	58,801
長期預り保証金	686,131	694,494
資産除去債務	322,019	323,603
固定負債合計	11,266,696	11,268,162
負債合計	17,278,509	17,505,511
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,006,900	1,006,900
資本剰余金	673,700	673,700
利益剰余金	13,102,959	13,420,952
自己株式	4,271	4,271
株主資本合計	14,779,287	15,097,280
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38,528	29,260
その他の包括利益累計額合計	38,528	29,260
純資産合計	14,817,815	15,126,540
負債純資産合計	32,096,325	32,632,052

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	4,754,233	6,349,792
売上原価	3,637,679	4,394,518
返品調整引当金繰入額	283	149
売上総利益	1,116,838	1,955,423
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	108,482	83,391
販売促進費	30,040	174,079
役員報酬	107,976	104,663
給料手当及び賞与	117,055	134,677
賞与引当金繰入額	19,057	33,500
退職給付費用	6,129	7,034
役員退職慰労引当金繰入額	4,387	4,263
製品保証引当金繰入額	8,000	5,000
貸倒引当金繰入額	18,627	1,889
販売促進引当金繰入額	24,950	-
その他	443,214	471,134
販売費及び一般管理費合計	887,921	1,019,635
営業利益	228,916	935,787
営業外収益		
受取利息	2,851	3,398
受取配当金	3,920	3,545
その他	12,836	6,662
営業外収益合計	19,608	13,607
営業外費用		
支払利息	40,181	37,784
貸倒引当金繰入額	146,000	46,500
その他	14,510	14,650
営業外費用合計	200,691	98,934
経常利益	47,833	850,460
特別利益		
違約金収入	100,000	-
特別利益合計	100,000	-
特別損失		
固定資産除売却損	750	0
特別損失合計	750	0
税金等調整前四半期純利益	147,083	850,460
法人税、住民税及び事業税	132,073	348,891
法人税等調整額	32,331	18,882
法人税等合計	99,741	330,009
四半期純利益	47,341	520,451
親会社株主に帰属する四半期純利益	47,341	520,451

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	47,341	520,451
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	12,599	9,267
その他の包括利益合計	12,599	9,267
四半期包括利益	34,741	511,184
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	34,741	511,184
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	147,083	850,460
減価償却費	398,181	381,662
のれん償却額	8,431	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	164,627	48,389
製品保証引当金の増減額(は減少)	1,000	4,000
賞与引当金の増減額(は減少)	1,762	26,987
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	1,334	6,334
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	4,387	168
返品調整引当金の増減額(は減少)	283	149
販売促進引当金の増減額(は減少)	24,950	3,500
受取利息及び受取配当金	6,772	6,944
支払利息	40,181	37,784
違約金収入	100,000	-
売上債権の増減額(は増加)	1,161,539	44,536
たな卸資産の増減額(は増加)	160,664	157,470
仕入債務の増減額(は減少)	53,889	178,009
前渡金の増減額(は増加)	117,585	127,214
その他	246,863	128,317
小計	1,690,334	1,883,330
利息及び配当金の受取額	6,772	6,944
利息の支払額	40,446	38,524
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	77,190	419,930
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,579,469	1,431,820
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	567,232	877,622
有形固定資産の売却による収入	100,000	-
無形固定資産の取得による支出	29,910	55
貸付けによる支出	146,000	85,000
その他	6,298	8,747
投資活動によるキャッシュ・フロー	649,441	971,425
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,114,000	1,205,500
長期借入金の返済による支出	1,194,084	1,267,905
配当金の支払額	202,363	202,008
財務活動によるキャッシュ・フロー	282,447	264,413
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	647,581	195,980
現金及び現金同等物の期首残高	5,492,713	7,876,132
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,140,295	8,072,112

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
受取手形	28,570千円	千円
支払手形	304,312千円	千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている現金及び現金勘定は一致しております。

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	202,458	9	2018年3月31日	2018年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	202,458	9	2019年3月31日	2019年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	機器事業	不動産事業	電気事業	コンテンツ事業	その他(注)1	計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	3,362,407	336,927	585,094	372,227	97,577	4,754,233		4,754,233
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高		20,420		5,150	426	25,996	25,996	
計	3,362,407	357,347	585,094	377,377	98,004	4,780,230	25,996	4,754,233
セグメント利益又は損失()	76,417	165,247	244,054	8,933	26,727	467,924	239,007	228,916

(注) 1 妙高酒造株式会社が運営する酒造事業を「その他」としております。

2 セグメント利益又は損失の調整額 239,007千円は、主に提出会社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	機器事業	不動産事業	電気事業	コンテンツ事業	その他(注)1	計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	4,944,649	360,761	580,509	360,637	103,233	6,349,792		6,349,792
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	5,800	22,825		400	188	29,213	29,213	
計	4,950,449	383,586	580,509	361,037	103,421	6,379,005	29,213	6,349,792
セグメント利益又は損失()	775,786	189,108	258,396	1,512	6,374	1,218,429	282,642	935,787

(注) 1 妙高酒造株式会社が運営する酒造事業を「その他」としております。

2 セグメント利益又は損失の調整額 282,642千円は、主に提出会社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	2円10銭	23円14銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	47,341	520,451
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	47,341	520,451
普通株式の期中平均株式数(株)	22,495,429	22,495,429

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月13日

株式会社オーイズミ
取締役会 御中

監査法人コスモス

代表社員 業務執行社員	公認会計士	新開智之	印
業務執行社員	公認会計士	小室豊和	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社オーイズミの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社オーイズミ及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

会社の2019年3月31日をもって終了した前連結会計年度の第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表並びに前連結会計年度の連結財務諸表は、それぞれ、前任監査人によって四半期レビュー及び監査が実施されている。前任監査人は、当該四半期連結財務諸表に対して2018年11月12日付けで無限定の結論を表明しており、また、当該連結財務諸表に対して2019年6月27日付けで無限定適正意見を表明している。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。